

岩木山の群発地震活動*

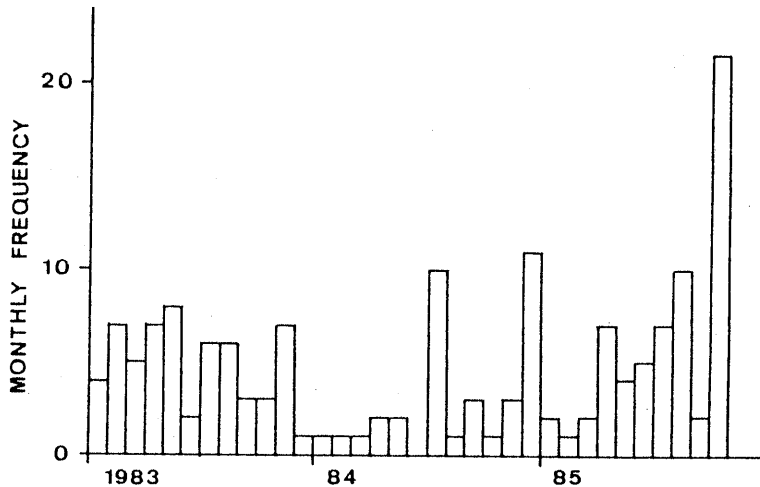
(1985年4月～10月)

弘前大学理学部

1972年以来岩木山の周辺に発生した群発地震活動は徐々に低調となり、特に1983年～1984年には地震発生回数の減少が顕著であった。¹⁾

1985年には地震活動が再び活発化する傾向が見られ、特に10月には14日のM=3.6(弘前大学による)の地震を最大とする地震群が岩木山北東麓に発生した。1985年4月～10月の地震群の震源は第2および3図に黒丸で示すように、それまでの震源域の北東端に近い2ヶ所に集中し、その震源の深さもやや深い。

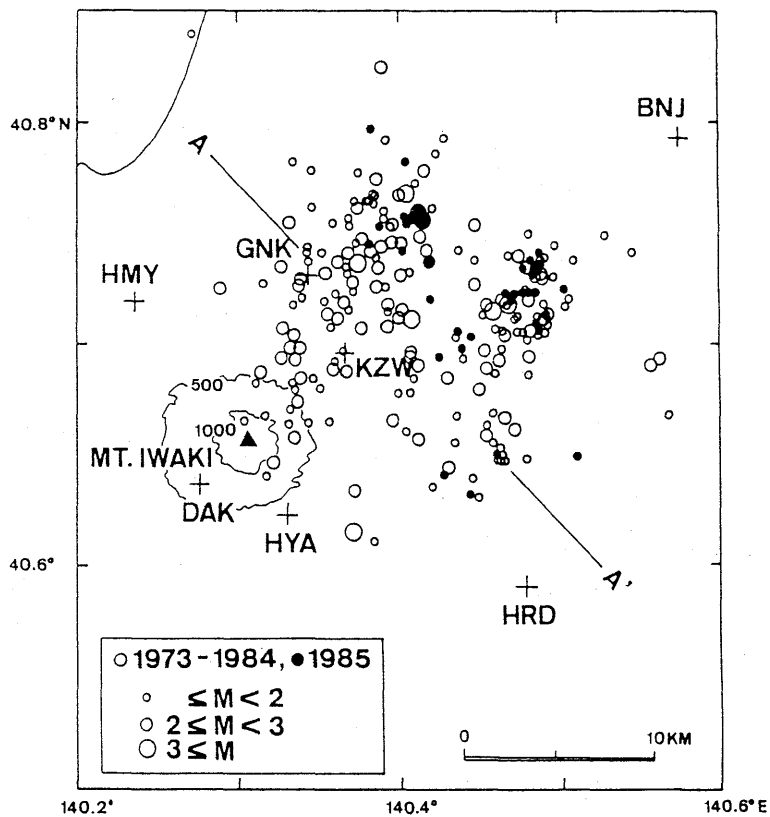
しかし、1985年の地震活動は1972年～1973年の活動最盛期と比較すると、発生回数で2桁程度少ない。



第1図 岩木山地震の月別発生回数(1983年1月～1985年10月)。

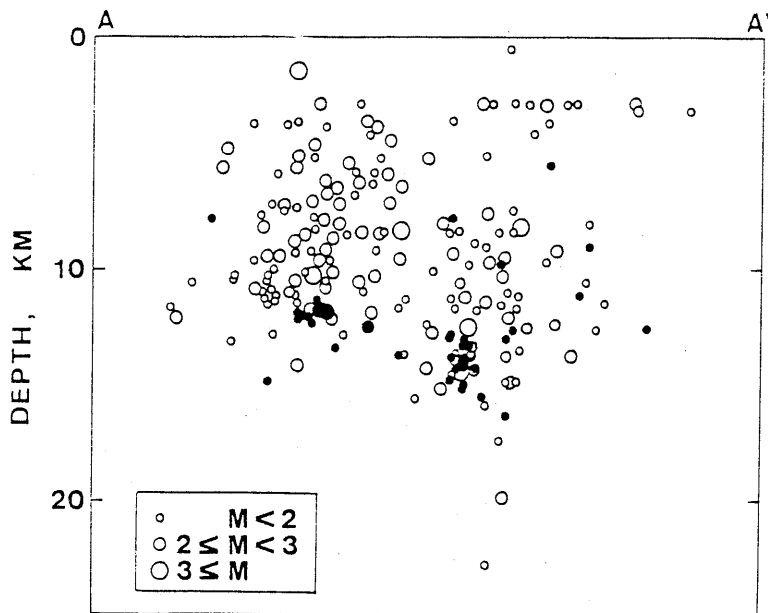
Fig.1 Monthly number of earthquakes (Jan. 1983~Oct. 1985).

* Received Dec. 6, 1985.



第2図 岩木山地震の震央分布。

Fig.2 Distribution of epicenters.



第3図 岩木山地震の震源の深さ分布 (A-A'断面)。

Fig.3 Focal depth distribution projected on the A-A' direction in Fig. 2.

参 考 文 献

- 1) 弘前大学理学部 (1985) : 岩木山の最近の地震活動, 噴火予知連会報, **34**, 5-8.